

2004Aトライアルユース課題の募集について

放射光利用研究促進機構
財団法人高輝度光科学研究センター

産業界等が抱える研究開発分野、応用開発分野等の問題のうち、SPring-8の高輝度放射光を利用することにより技術的ブレイクスルーが期待されるものを対象に、産学官の放射光利用トライアルユースの実施を行い地域産業活性化のためのイノベーション、新産業の創出を支援します。当財団では2003Bからトライアルユース課題を重点産業利用領域に指定しています。下記の要領でご応募ください。

記

1. 利用期間

平成16年2月26日～平成16年7月中旬の予定

2. 対象ビームラインとシフト数

BL19B2 産業利用ビームライン 50シフト程度
その他BL01B1、BL37XUおよびBL46XUで若干シフト提供する予定です。

3. トライアルユースの重点領域（年度ごとに指定）

平成15年度はイメージングと応力解析、平成16年度は薄膜微量のXAFSと薄膜の構造解析です。

4. 応募方法

利用研究課題申請書に記入し、原本1部と副本（原本の縮小両面コピー）15部を利用業務部へ送付してください。利用研究課題申請書記入の際、1頁目の特記事項のトライアルユース（TU）応募のチェック欄にチェックしてください。なお、トライアルユース課題が不採択になった場合は一般課題として審査しますので、一般課題への二重申請は不要です。

5. 応募締切

平成15年11月4日（火）午前10時 利用業務部必着
（国内からの応募は11月2日（日）の消印有効）

6. トライアルユースについて

（1）支援

計画の立案から実施、まとめに至る相談、技術支援、試料作製から実験装置の費用、旅費など、広範な支援を実施します。

（2）審査

提案された課題は、課題選定委員会の委嘱を受けたトライアルユース課題選定委員会で審査されます。

（3）報告書

従来の報告書（Experiment Report）に加えて、別途トライアルユース課題実施報告書の提出を求めます。

7. 技術的問い合わせ先

利用研究促進部門Ⅰ
古宮 聡（komiya@spring8.or.jp）
または 梅咲則正（umesaki@spring8.or.jp）

8. 申請書の送付および問い合わせ先

〒679-5198 兵庫県佐用郡三日月町光都1-1-1
（財）高輝度光科学研究センター 利用業務部
平野志津 / 平野有紀
TEL：0791-58-0961 FAX：0791-58-0965
e-mail：sp8jasri@spring8.or.jp

9. BL19B2のトライアルユース留保ビームタイムについて

BL19B2では50シフト程度を2004A期の後半に留保します。トライアルユース留保ビームタイムの課題募集は平成16年3月以降に行う予定です。